

令和4年度 那須塩原市建設工事成績評定結果

1. 対象

那須塩原市が発注した設計金額130万円を超える建設工事かつ、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日）で契約検査課が完成検査を実施した建設工事を対象とする。

建設工事完成検査件数

[単位：件]

工種別	令和4年度	令和3年度	増減
土木一式工事	44	55	▲11
建築一式工事	7	14	▲7
電気工事	16	21	▲5
管工事	13	32	▲19
舗装工事	26	24	▲2
水道施設工事	17	22	▲5
その他工事	12	21	▲9
計	135	189	▲54

2. 評定点

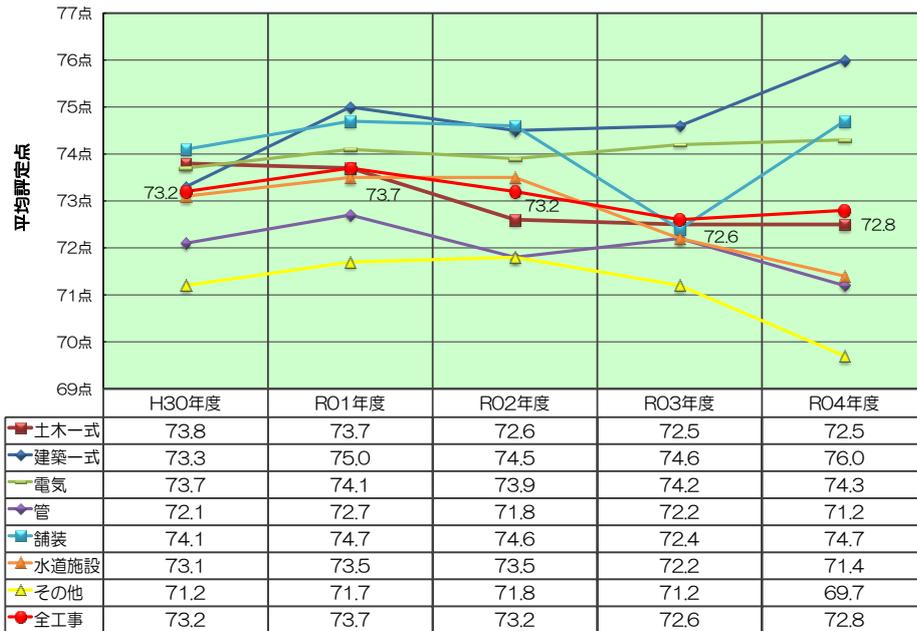
令和4年度に完成検査を実施した全工事の平均評定点は72.8点であり、直近3か年では大きな変化はなく、ほぼ横ばいである。（図1参照）

前年度との比較では、全体で0.2ポイント上昇した。工種別では、管工事、水道施設工事、解体・その他工事で下降する結果であったものの、建築一式工事、電気工事、舗装工事では上昇する結果であった。過去5か年の平均点推移では、令和4年度の解体・その他工事を除く工種において、平均点70点を超えており（図2参照）、一定程度以上の品質確保が図られていると考えられる。

図1. 令和4年度 建設工事【工種別一平均、最高、最低工事成績評定】



図2. 過去5か年の建設工事【工種別一平均工事成績評定点推移】



3. 総合評価

総合評価のランク（以下、評価という。）別に分類した場合の令和4年度における工事件数は、A評価は6件、B評価は37件、C評価は90件、D評価は2件、E評価は0件である。（図3参照）

A評価については、令和3年度で3.2%であったが、令和4年度は4.4%と上昇した。B評価については、令和3年度の28.6%から、27.4%に下降しており、C評価についても、令和3年度の67.7%から、66.7%に下降している。今後改善すべき事項があるD評価対象工事は2件あり、令和3年度から1件増加している。指名に影響を及ぼすおそれのあるE評価対象工事は0件であった。

図3. 令和4年度建設工事【工種別一総合評価】件数分布状況

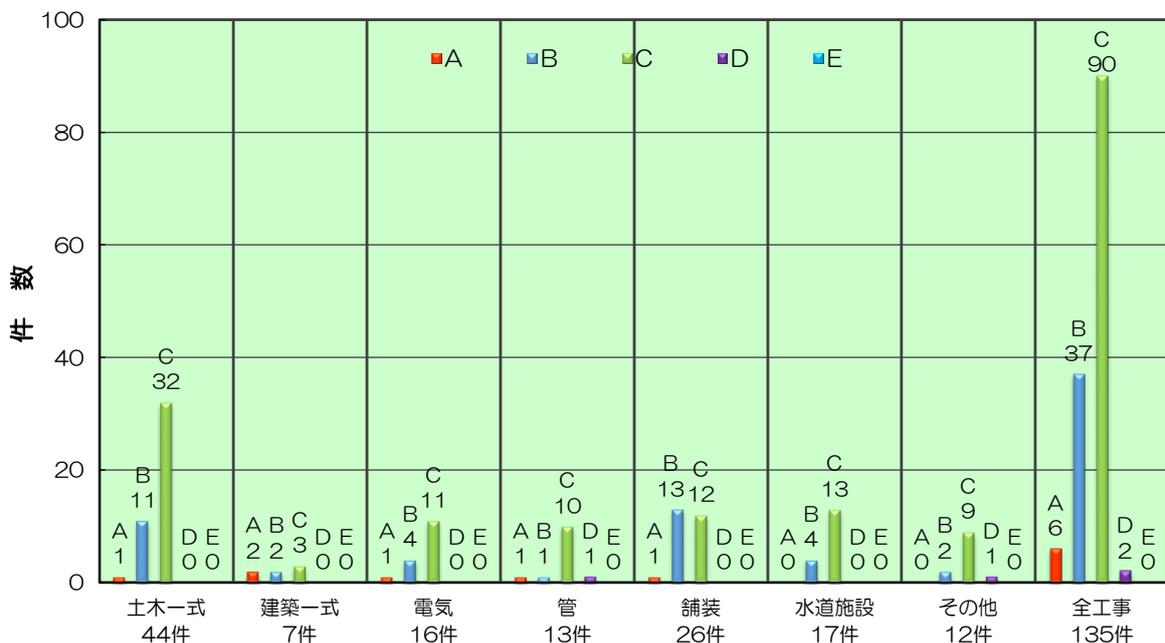


図4. 令和3年度建設工事【工種別—総合評価】件数分布状況

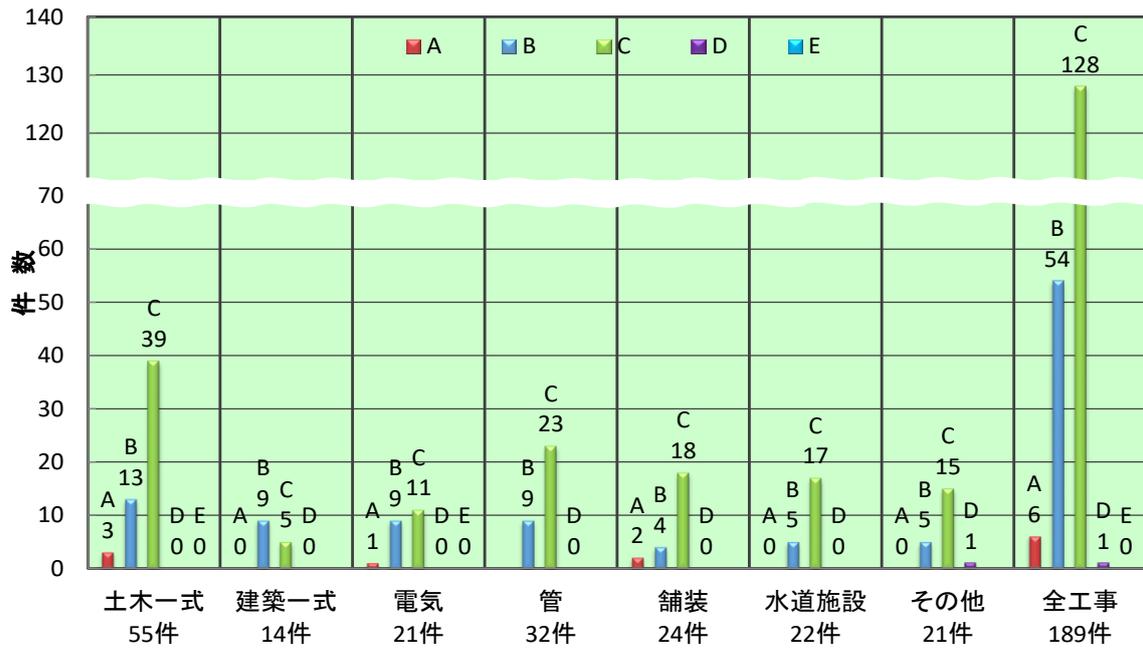


表1. 総合評価の標準

ランク	評定点の標準値	総合評価の標準	
A	80点以上	他の模範となる優秀な工事	
B	75～79点	標準的工事	Aランクではないが、標準的工事の中で優秀なもの
C	65～74点		標準的な工事
D	60～64点		Eランクではないが、今後改善すべき事項がある工事
E	59点以下	今後指名等に影響を及ぼすおそれのある工事	